

予防接種は終了していますか？

◆平成27年度 高齢者肺炎球菌定期予防接種

平成27年度対象の人の定期接種での接種機会は今年度限りです。接種の機会を逃さないようご注意ください。
対象者：これまでに任意接種を含め、高齢者肺炎球菌ワクチンを接種したことがなく、下記①または②に該当する人です。

- ①平成28年4月1日現在、次の年齢の人…65・70・75・80・85・90・95・100歳
- ②接種日に60歳以上65歳未満であって、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがあり、日常生活が過度に制限される人（身体障害者手帳1級程度）

実施期限 / 平成28年3月31日(木) **実施回数** / 1回 **自己負担金** / 3,000円（生活保護世帯は無料）

◆定期予防接種（1歳～20歳未満の人）

対象年齢、接種間隔を外れると自己負担（有料）になりますので、ご注意ください。接種対象年齢の「〇か月（歳）に至るまで」および「〇か月（歳）未満」とは、〇か月（歳）になる前日までです。

種類	接種回数	接種対象年齢
水痘	2回	1歳～3歳に至るまで
麻しん風しん混合	1期：1回	1歳～3歳に至るまで
	2期：1回	年長相当（平成21年4月2日～平成22年4月1日生まれ） 実施期限 / 平成28年3月31日(木)まで
二種混合	2期：1回	11歳～13歳未満
日本脳炎	1期：3回	6か月～7歳6か月に至るまで（3歳からの接種をお勧めします）
	2期：1回	9歳～13歳未満
日本脳炎特例対象者 平成17年度～21年度の積極的 勧奨差し控えによる特例措置		20歳未満で平成19年4月1日までに生まれた人 特例措置用の予診票が医療機関においてあります。 医師と相談し、接種回数不足分を接種ください。

※子宮頸がん予防ワクチンは、積極的勧奨を一時的に控えています。

出張育児相談

対象：0歳～就学前の子ども

保健センターを飛び出して、中央公民館で育児相談をおこないます。身体計測はもちろん、保健師・管理栄養士がご相談に応じます。予約は必要ありません。お気軽にお越しください。ご自分のお住まいの地域でゆっくりお話ししてみませんか？

日程	場所	内容	持ち物
2月1日(月) 10:00～11:30	中央公民館	身体計測、保健師・管理栄養士の個別相談	・母子健康手帳・バスタオル ・おむつ・子どもに必要なもの

医薬品副作用被害救済制度

平成23年2月1日～平成25年3月31日までに町の助成によりワクチン接種（※）した人へのお知らせ

ワクチン接種後に何らかの症状が生じ、医療機関を受診した人は、接種との関連性が認定されると、医療費・医療手当が支給される場合があります。ただし、支給対象となるのは、請求した日から遡って**5年以内**に受けた医療に限られています。認定を受けるためには、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PDMA）に請求する必要があります。詳細は、下記相談窓口にお問い合わせください。

【相談窓口】独立行政法人医薬品医療機器総合機構 救済制度相談窓口

☎0120-149-931（フリーダイヤル）＜受付時間＞月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く）午前9時から午後5時

※子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種

休日・夜間・小児時間外診療所

施設名	休日急患診療所	第二休日診療所	小児時間外救急診療所	イムス富士見総合病院(入院等が必要な救急小児)
所在地	ふじみ野市駒林元町3-1-20	富士見市鶴馬3351-2	ふじみ野市駒林元町3-1-20	富士見市鶴馬1967-1
電話番号	049-264-9592	049-252-4050	049-264-9592	049-251-3060
診療日	日曜・祝日・年末年始	日曜・祝日	月～土曜	月・木曜
診療時間	9:00～16:00 20:00～22:00	9:00～16:00	20:00～22:00	月・木曜が平日 18:00～翌朝8:00まで 月・木曜が祝日 8:00～翌朝8:00まで

下記のイベントは中央図書館視聴覚室で開催します。
 中央図書館窓口、電話で申込受付中！

大人のための落語に親しむ会

無料

1月17日(日) 14:00～15:30

- ▶ 講師 三教亭南教 ▶ 内容 古典落語「愛宕山」ほか
- ▶ 対象・定員…大人50人



中高年の読書会(第3回)

無料

1月21日(木) 14:00～16:00 受付13:45

- ▶ 内容 おすすめの本を持参し、1人5分以内で紹介。意見交換。聞くだけの参加も歓迎。※本を紹介する人は事前申し込み。
- ▶ 共催 みよし読書愛好会、図書館 ▶ 対象 中高年の人

読み聞かせボランティア講座 第2回

本の個性を活かす読み聞かせを—タイプ別の読み方実践—

無料

2月2日(火) 10:10～12:00 受付10:00

- ▶ 対象 読書ボランティア、興味のある人 ▶ 定員…30人

大人のための図書館歴史講座

資料で見る三芳の歴史—天保5年雨乞い代参の旅—

無料

2月13日(土) 14:00～15:30 受付13:45

- ▶ 講師 図書館職員（元歴史民俗資料館館長）▶ 対象・定員…大人30人

図書館だより



中央図書館 ☎258-6464
 開館時間 / 10:00～19:00（土・日18:00まで）
 休館日 / 毎週月曜日、月末、土・日除く祝日
 竹間沢分館 ☎274-1722
 開館時間 / 11:00～18:00
 休館日 / 毎週月曜日、月末、土・日除く祝日
地域文庫
 児童書の貸出、お話をなどを行います
つくし文庫…1月16日(土)10:00～12:00
 場所 / 上富第1区集会所

雪、に関する本別置紹介中

児童書



小さな雪の町物語

杉みき子 文
 佐藤忠良 画
 童心社 1972年2月発行
 請求記号：913ス

雪降る夜道で、道に迷う老女を助けた少女。老女がお礼にくれたものとは…（「ゆず」より）雪の町が舞台の短編15作。小学五年国語教科書の「わらぐつの中の神様」で有名な著者の故郷への思いがこもる。高学年から。

みよし歴史探訪

文化財保護課 ☎258-16655

ヤマの様子とその役割①

十月号で記したが、三芳のヤマは自然林ではなく、人々が育成してきた二次林である。屋敷林を除くヤマ（山林、雑木林）は、クヌギとコナラ、ところによってはアカマツが主体をなし、ハンノキ・イヌシデ・ヤマザクラ・エゴノキなどが混生する。

三芳付近に古くから生活する人々は、林のことを「ヤマ」と呼び、雑木林や平地林という名称では呼ばない。ヤマはクズ（落葉）を供給するばかりではなく、カヤは屋根材に、下草は焼き付けや牛馬の下敷きとして厩肥に、コナラやクヌギなどの落葉広葉樹は薪に、アカマツなどは建築用材にと様々なものを供給し、ヤマと人々は長い間共生してきたのである。

三芳付近では落葉のことをクズといい、クズをヤマで掃き集める作業を「クズ掃き」とか「ヤマ掃き」と呼んだ。クズ掃きは冬場の三芳に欠かせない農作業であり、かつてはどの農家でも行う作業であった。

かつて畑作農家では、麦とサツマを中心とし、これに大根・ゴボウ・人

参などの根菜類、それに茶づくりの農作業で、早春からほぼ十一月いっぱいまで忙しい。十一月になると農作業は一段落し、農閑期に入る。堆肥やサツマの苗床に必要な落葉を集めるクズ掃きは、農閑期の仕事であり、ナラやクヌギの落葉は農業のサイクルとうまく一致しているのである。

農閑期という休暇のように思われるが、作物の手入れや収穫がないだけで実は忙しい。その冬仕事の代表格がクズ掃きである。三芳では昭和三十年代後半まで、正月は月遅れの二月正月で行っていたというが、これにはいかなったためといわれ、冬場のクズ掃きは、年中行事のあり方をも決める大切な仕事であったことがうかがえる。



クズ掃き（昭和40年代）